



## 若手研究者ポートフォリオ(HIRAKU-PF) 簡易マニュアル(HIRAKU 長期インターンシップ応募者用)

### ○若手研究者ポートフォリオ(HIRAKU-PF)とは？

「若手研究者ポートフォリオ(HIRAKU-PF)」では、博士課程学生を含む若手研究者が、自身をアピールできるポータルや検索機能を通じて、異分野の若手研究者とのつながりや多くの民間企業等と交わる機会を提供しています。また、HIRAKU-PFに参画する大学、企業、公的機関などが若手研究者のキャリア開発／能力開発に役立つ各種情報(インターンシップ、求人、研修など)の発信もしています。さらに、若手研究者が自身の能力の強みや弱みを理解し成長をサポートするツールが用意されています。いろいろな「あつまる」・「つながる」・「まじわる」機能を通じて、博士課程学生を含む若手研究者が社会とのつながりを深め、新たな出会いや気づきの中で自らの未来を拓くことができるようなシステムです。

長期インターンシップの応募書類である「研究業績書」については、HIRAKU-PFのeポートフォリオ機能を利用して研究活動や業績を入力し、ダウンロード(Excel形式)したものを編集・プリントアウトした上で提出いただけます。

この簡易マニュアルでは、HIRAKU-PFの利用に必要なログインID登録、HIRAKU-PFへのログイン、研究活動と業績を登録と業績書のダウンロードまでの流れを紹介しています。

なお、応募申請書を提出する前に行う事前相談についても、HIRAKU-PFの「キャリア相談機能」から面談依頼を行っていただくこととなりますので、こちらの機能についてはログイン後に表示される「USER GUIDE」をよく読んでください。

### ○ログインID登録方法

HIRAKU-PFを初めて使用する場合は、次の方法によりログインID登録を行ってください。

(注)2017年4月以降に広島大学の博士課程後期に入学された方については、ログインIDと初期パスワードをすでに広大メールにより通知済みですので、ログインID登録は不要です。

1. HIRAKU-PF(<https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp>)にアクセスする。
2. 「新規ユーザー登録のご案内」をクリックし、一番下段の「アカウント登録はこちら」をクリックする。
3. 所属する大学から発行・配付されたメールアドレスを入力し、「登録」ボタンをクリックする。
4. 3.で入力したアドレスに送付される「アカウント本登録のお知らせ」メールを開き、文中に掲載されているURLをクリックする。(自動遷移しない場合はコピーしてWebブラウザのアドレス欄に貼り付けてアクセスしてください。)
5. 「アカウント本登録」ページに基本情報を入力する。
6. 「利用規約に同意する」横のボックスにを入れ、「登録」をクリックする。

## ○ログインする

- ① 以下の URL にアクセスしてください。  
若手研究者ポートフォリオサイト <https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp>
- ② ログイン画面  
若手研究者ポートフォリオで使っているログイン ID を入力して、「Sign in」ボタンをクリックしてください。

- ③ 続いてパスワードを入力して、「Sign in」ボタンをクリックしてください。

※ ログイン後の画面右上に表示される「USER GUIDE」をクリックすることで、操作説明マニュアルをダウンロードできます。  
「初めてお使いの方へ」ボタンをクリックすることで HIRAKU-PF の概要を説明したファイルをダウンロードできます。

## ○研究活動と業績を登録する

メニューバーから「eポートフォリオ」・「eポートフォリオ編集」を開いてください。  
操作マニュアル等の記載にしたがい、「研究活動」のタブをクリックし、論文、講演、口頭発表等、書籍、特許、受賞、競争的資金等の課題研究、作品等、その他を登録してください。

### 【マニュアル等掲載箇所】

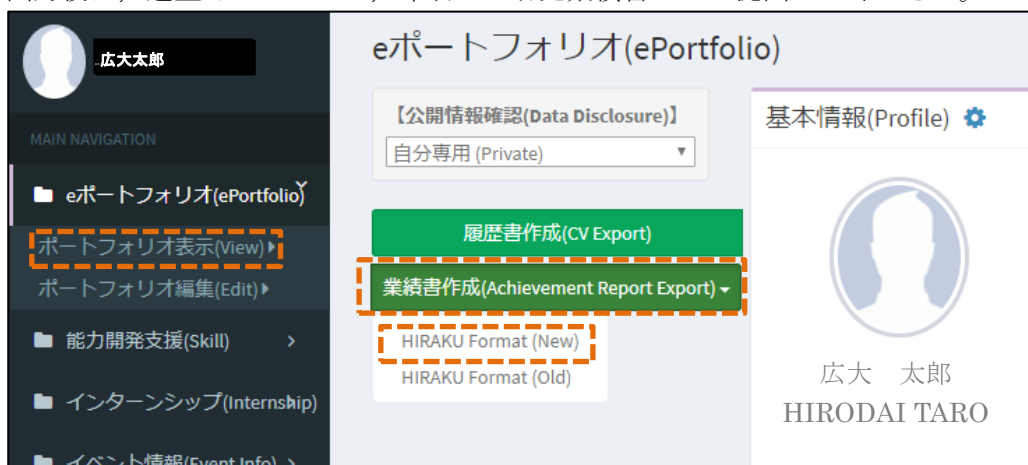
初めてお使いの方へ	「1.eポートフォリオ」・「③研究内容、業績などを登録する」
操作説明マニュアル	「2.4.1.ポートフォリオを編集する」・「研究活動を登録する」



業績情報は、Excel ファイルによる一括登録ができます。

## ○業績書をダウンロードする

メニューバーから「eポートフォリオ」・「eポートフォリオ表示」を開いてください。  
「業績書作成」・「HIRAKU Format (New)」の順にクリックして、ダウンロードしてください。  
出力後は、適宜加工した上で、印刷して研究業績書として提出してください。



(研究業績書を Excel で加工する際の注意事項)

- ・研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。
- ・論文については、「SCI/SSCI/A&HCI/ESCI 論文 (Journal) (Y/N)」欄に、その該当の有無を追記してください。

## ○能力診断を行う

メニューバーから「能力開発」・「能力開発トップ」を開いてください。

英国 Vitae トランスファラブルスキル欄の 3 つのグラフィックのうち、「雇用適性診断」のグラフィックを選択してクリックしてください。

研究者に求められる 63 の能力項目のうち、雇用適性診断用に選択された小項目 27 項目が表示されます。小項目を 1 つずつクリックし、自分が今どのレベルにあるか確認しましょう。

大項目	中項目(Sub-domain)	小項目(Descriptor)	フェーズ(Phase)	エビデンス(Evidence)	アクションプラン(Action Plan)
A: 知識と	A1 知識基盤	A1.1 専門分野の知識 (Subject knowledge)	3	[A1] A B C D の研究において、テーマを「○○」に特定し、基本的な研究上の問いと仮説を導り、3 分間コンペティション 2.0 1.5 において企業賞 X Y Z を受賞した。	[A1] 特に養成が必要と思われる A1.1 (専門分野の知識) の強化に努め、養成科目の受講、および各種イベント参加によってレベルを上げる。
		A1.2 研究方法 (理論的知識) (Research methods - theoretical knowledge)	0		

クリックすると下記のように 5 段階のフェーズがそれぞれどのようなスキル、知識、態度、行動を求めているか確認することができます。自分のフェーズを選択してください。

詳細項目確認&診断(RDF Descriptor Phases & Assessment): 雇用適正診断(Employability)

RDF No. A2.5 能力(Skill) 問題解決力 (Problem solving)

下記のフェーズごとに求められる知識・態度・技術を確認し、今自分が達成していると思うフェーズを選択してください。選択した診断記録は更新日ごとに保存され、過去に遡って出力できます。  
Please select your current phase, based on the below description (expected knowledge, skills and attitude. Your self-assessment record will be stored in the database, which can be historically extaced.

フェーズ(Phase)				
0	1	2	3	4
自分の研究における基本テーマを特定し、基本的な研究上の問いと仮説を述べている。(Isolates basic themes of own research; formulates basic research questions and hypotheses.)	幅広い研究課題に対して解決策を練り上げて適用し、研究成果を効果的に分析、解釈している。(Formulates and applies solutions to a range of research problems and effectively analyses and interprets research results.)	研究の新たな動向、複雑な問い、広範な課題を見定め、大型のプロジェクトを立案している。(Identifies new trends, complex questions and broader problems; designs substantial projects. Challenges particular hypotheses and refines them in the light of results.)	物事の理解に大きく貢献することで研究課題をリードしている。的確な問題提起によって、従来型の思考一般に異議を唱え、研究テーマを前進させるプロジェクトを立案している。(Leads a research agenda by making major contributions to understanding. Asks the pertinent questions and designs projects that challenge traditional thinking in general and progress research themes.)	

自分の現在の達成フェーズを選択してください。  保存(Save)

27 項目は 4 つの大きなドメイン A~D に分類されていますので、そのドメインごとに、主だった項目だけでもハイライトし、なぜそのフェーズを達成していると思うのか Evidence 欄に、どのようにしてさらに養成していきたいかという計画をアクションプラン欄に入力しましょう。欄をクリックすると表示される鉛筆マークをクリックすると編集できます。全ての入力終了したら「Save」ボタンをクリックしてください。

雇用適正診断(Employability)

最終更新日時 2019/05/20 11:23 Viteae ©2018 Careers Research Advisory Centre (CRAC) Limited. www.viteae.ac.uk/RDFond... Cancel Save

大項目	中項目(Sub-domain)	小項目(Descriptor)	フェーズ(Phase)	エビデンス(Evidence)	アクションプラン(Action Plan)
A: 知識と知的能力	A1 知識基盤	A1.1 専門分野の知識 (Subject knowledge)	3	[A1] A B C D の研究において、テーマを「○○」に特定し、基本的な研究上の問いと仮説を練り、3 分間コンペティション 2 0 1 5 において企業賞 X Y Z を受賞した。	[A1] 専門分野の知識の養成が必要と思われる A1.1 (専門分野の知識) の強化に努め、養成科目の受講、および各種イベント参加によってレベルを上げる。
		A1.2 研究方法 (理論的知識) (Research methods - theoretical knowledge)	0		
		A1.3 研究方法 (応用力) (Research methods - practical application)	0	[A1.4] 学部生の時に x x x を行ったことにより自信を持っている。x x x、x x x を利用して情報探索を行い、常にその信頼性を確保するために x x x という方法を使って検証し、指導教員に確認している。	[A1.1] 自分の専門分野についての知識を深化させるため、x x x、x x x x x に挑戦する。(2 0 1 7 年 3 月末まで) 対象養成科目を受講する。(1 年後後期中)

全体の診断結果を出力するには、右上の「自己評価レポート」をクリックし、診断タイプとして「雇用適性診断」を選択し、出力ボタンをクリックしてレポートをダウンロードしてください。

雇用適正診断(Employability)

能力養成 / Skill Development

能力診断/更新 Assessment

養成科目 Subjects

全体・年間目標 Objectives

自己評価レポート Reporting

レポート出力(Reporting)

各種レポート出力(Extract Reporting) 出力(Export) 閉じる(Close)

設定・更新した目標・行動計画、自己評価結果をレポートとして出力します。診断タイプ、出力時点それぞれ選択し、「出力」ボタンをクリックしてください。You can extract your objectives/action plans/skill assessment results in Excel format. Choose the Assessment Type and Date of Record, and click the "Export" button.

出力内容設定(Reporting Criteria)

診断タイプ(Assessment Type) ▼

- 研究者基礎能力診断(Starter in Research)
- 研究者基礎能力診断(Starter in Research)
- 雇用適正診断(Employability)
- R D F 全項目診断(Full RDF Skills)

出力時点(Date of Record)

## ○その他

ログアウトする時は、右上の「利用者名」「顔写真」をクリックすることで、「Sign out」のボタンが表示されます。



## ○操作方法等の問合せ先

未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営事務局(hiraku@hiroshima-u.ac.jp) までお問い合わせください。